

精神障がい者社会生活適応訓練事業 「目標」の設定について【支援機関】

訓練を開始するにあたり、訓練生は、訓練を通じた「目標（訓練を通じてどのようになりたいか、どんなことができるようになりたいか）」を決めます。

訓練終了時に、その目標をどれくらい達成できたかについて、訓練生・支援機関ともに振り返っていただきますので、次ページの【訓練生が設定した目標について確認していただきたいこと】について確認をお願いします。

訓練開始から3ヶ月が経過したら（※）、訓練生とともに当初の目標を振り返ってください。当初の目標が訓練生に合っていない（高すぎる、低すぎる）と思われる場合は、訓練生は改めて目標を設定し、チェックシート（様式第4号）に記入します。

再設定後の目標についても、下記【訓練生が設定した目標について確認していただきたいこと】の確認をお願いします（当初の目標が訓練生に合っていると思われる場合は、引き続きその目標に向かって訓練を続けられるよう、支援をお願いします。）。

※4月に訓練を開始した場合は、6月の訓練を終了したとき

目標を記入する様式

様式		該当項目
様式第3号	社会生活適応訓練申請書	6ヶ月後の目標
様式第4号	社会生活適応訓練事業 チェックシート	①訓練開始時に設定した目標 ②訓練開始3ヶ月後に目標を見直した場合は、その目標
様式第6号	社会生活適応訓練に関する支援機関の意見書	6ヶ月後の目標設定
様式第8号	社会生活適応訓練期間延長申請書	6ヶ月後の目標
様式第9号	社会生活適応訓練の期間延長に関する支援機関の意見書	6ヶ月後の目標設定及び支援方針
様式第16号	訓練日誌	目標

（次ページへ続きます。）

【訓練生が設定した目標について確認していただきたいこと】

- 具体的なものとなっているか（下記の例を参照）
- 訓練生の現状と合っているか（目標が高すぎたり低すぎたりしないか）。
 - 設定した目標が本人にとって高すぎると思われる場合は、それに向けてまず何ができるのかを訓練生とともに考え、それを目標として設定するようにしてください。
- その目標を設定した理由

【良い例（具体的な例）】

- ・ 指示内容をメモにとり、教えられたとおり正確に作業ができるようにする。
- ・ わからないことや困ったことを、協力事業所の担当者や支援機関に相談できるようになる。
- ・ 訓練を通して様々な作業を経験することで、自分の得意不得意や環境への適性を見極める。
- ・ 指示内容をメモにとり、教えられたとおり正確に作業できるようにする。
- ・ 分からないことは気づいた時に質問をする。
- ・ 作業完了時に自分から報告する。
- ・ 医師の指示通りに服薬通院を続けることで、休まずに出勤できる力を身につける。
- ・ 体調や気持ちに変化があった場合はすぐに相談し、どのような場面でしんどくなるか把握する。
- ・ 自分の強みや苦手、配慮してもらいたいことについて知り、人に伝えられるようになる。

【悪い例（具体的でない例）】

- ・ 訓練で力をつけて、一般企業に就職したい。
 - 就職するために必要だと考えることを目標として設定してください。
- ・ 安定して働く力を身に着ける。
 - 安定して働くために必要だと考えることを目標として設定してください。